

弓道なごの

第40号

発行：長野県弓道連盟
会長 土川俊市
〒399-6303
塩尻市奈良井611
TEL0264(34)3063
編集：県弓連広報部
印刷：(株)成進社

巻頭言

「進歩は先ず一歩踏み出すこと」

長野県弓道連盟会長 土川 俊市



明けましておめでとございます。

会員の皆様方におかれましては新しい年が夢と希望に満ちた年でありますように心から祈り申し上げます。

昨年は東日本に発生した未曾有の大震災をはじめ身近なところでは県北部栄村の地震・後の松本地震と、度重なる台風災害のほか原発災害など歴史に残る甚大な被害をもたらした自然災害等が多い年でありました。

政治・経済を主とする社会環境に至っても、自然災害に揺さぶられたのか落ち着かず、円高・経済不況・タイの洪水など正しく不透明な状況が続いておりませんが、東日本大震災からの一日も早い復旧・復興に「がんばれ・日本」の絆のもと支え合って前進しなくては

なりません。引き続き、力を合わせて頑張ります。

激動の世相の中にあつて弓道の道を志し、自己の修練に励むことのできる幸せを感じて自己を錬磨し人間として、夢と希望のもてる明るい社会の創造に貢献していきたいものです。

県弓連の事業は会員各位の積極的なご参加・ご協力によって順調に推進されてきたことに心から感謝申し上げます。

今年度は県弓連としては事業年度の変更に伴う最初の該当年度で、年間を通じて事業の流れが多少ギクシャクしたところもありますが、全日弓連が公益財団法人としての新組織でスタート、また県体協も同様の組織化による等となり、総合的な事業内容と流れは変わらないにしても、新



北信越国体 矢渡し

組織によるスタートと県弓連の事業年度の変更は整合性を確保する意味から適切であったと思います。

しかし、全日弓連はこの機会に事業の見直しで新設・廃止事業もあることから、当県弓連も即応した事業の見直しが必要となりました。

平成二十三年四月スタートした県弓連の事業も新年を迎えて残り三か月となりましたが、新年から三月末までの期間は平成二十三年度のまとめと平成二十四年度の計画をたてることで大きな仕事となります。

この間会員各位におかれましても同様、日々の修練の傍ら新しい年への抱負をまとめ実践スタートの期間と思えます。

県弓連としては祝射会の折にも申しあげましたが、第六十二回全日本弓道大会において範士の部で優秀賞に宮澤廣先生が選ばれ、有段者の部で山田静香選手が見事優勝されました。第六十六回山口国体で成年男子が近的種目五位入賞し、少年男子は遠的種目で第六位に入賞しました。

第八回全国中学生弓道大会の個人部で滝澤里帆選手が第六位に入賞し、「弓道長野」の名を高めてくださいました。

昇段・昇格では七段一名と錬士十二名が誕生いたしました。

また、今日までの功績が認められ、叙勲を拝受した山川茂樹名誉会長を始め、県体協の有功章を受章した外蘭公毅副会長など多くの個人・団体が表彰を受けられました。

以上申し上げましたことは、本人の弛まぬ努力による事ではありますが、「弓道長野」を今日まで支えてきてくれた先生(師匠)先輩・同僚弓友の力が土台にあること、特に家族の協力があったことも忘れてはならないと思えます。

弓道を通じて、自己を研鑽し一人の人間として心身ともに今より明日に向かって一歩前進しましょう。

前年のままでは進歩がなかったことになりす。先ずは今立っている場から一歩踏み出すことです。

日々の修練は自己に厳しく、「基本に忠実であれ」を基調とすれば必ず何か得るものがあります。そのうちのひとつを修正しても進歩になりますので視点を変えてみませんか。

材料はたくさんありますので頑張ってください。

新年にあたり、会員の皆様方には、今後とも健康に留意され全日弓連・県弓連の審査や大会などの諸行事に積極的に参加と引き続き絶大なお力添えを乞い願ひ、そのうえそれぞれの目指す自己の目標が達成されますようご祈念申し上げます。



志村 仁 選手

志村 仁 選手
選手9年目の今年、玉国体の時よりも中りはあるはずですし、当時よりも上達している面も多くあったはずでした。しかし、自分を出し切れる事もな



市川 隆光 選手

市川 隆光 選手
思うくらいの酷い射でした。教本にも書いてありますし、良く耳にする機会のある言葉ですが、『気は技に優先する』まさにこれでした。気迫

近年の長野県成年男子は非常にハイレベルな争いになっており、2012年岐阜国体には選手として出場出来るか分かりませんが、この大会から学んだ事を生かして頑張ろうとおもいます。

で中てる事はとても良い事なのですが、やはり技が伴わないといけないのは当たり前です。(技というのは小手先の技術ではなく正しい弓を引く事)その事を再確認する事が出来たのは良かったと思えました。また、強化部員という観点から見ても課題が見えた大会でもありました。

今年山口国体は『情けない』の一言で表せると思います。遠くでは予選落ちをしたものの、近的で12射皆中を含む21中で予選を通過し、5〜8位決定競射で6射皆中で5位に入賞。私自身の成績も遠的8射7中(52点)、近的14射11中で悪い数値ではないのですが、射の内容、最終成績、私自身の中り、す

べてが不本意な内容で終わりました。成績に満足出来ない事は多々あるのですが(優勝以外は満足できないから)、それ以外の面でここまで満足出来ないのは平成16年の埼玉国体以来の事です。埼玉国体は選手2年目でしたので2年目のジネクスというヤツかな?と

後日、永藤先生から国体のビデオを頂いて客観的に見てみたのですが、近的には良くこれで中てたなと

く、大会が終了してしまいました。

成年男子監督・選手 志村 仁 (諏訪支部)

山口国体を終えて

第66回国民体育大会 弓道競技
平成23年10月2日〜5日 山口県弓道場



平澤 敏弘 選手



山口国体

少年男子監督 高地 美佐子



10月2日から5日まで山口県で行われた国体、結果は成年男子が近位的5位、少年男子が遠位的6位と入賞することが出来ました。

成年も少年もそれぞれ初日に予選落ちし、後がない状況での入賞でした。成年の近位的予選2回目、決勝に進むには一本も落とせない中での12射皆中、射場全体の空気を全て長野県チームに引き寄せ、味方につけたようでした。

また、少年は遠位的予選1回目に86点という高得点を出しました。これは予選から決勝までを通して少年の中では今大会の日本一の点数でした。

そんなすごい少年たちから一言。

金子 周

高校生活初めての全国大会が国体



金子 周 選手 林 貴徳 選手 前田 聖也 選手

となった僕でしたが、国体では試合のレベルの高さに驚くと同時に楽しみも加わりました。その試合では、

精一杯弓を引いて全てを出し切ることに専念しましたが、うまく弓が引けない場面もあり、力の不十分さを痛感しました。

入賞することが出来たのも、これ

まで支えてくれた大勢の方のお陰です。次は成年で国体に出場できるよう、これからも精進していきたいと思っています。

林 貴徳

最初に、今回の国体で右も左もわからない所から根気よく指導して下さった先生方に感謝したいと思います。

ありがとうございます。

国体本番では、残念ながら練習してきたことを出し切ることは出来ませんでした。それでもこのような結果を出す事が出来、よかったです。思います。

また、今回の失敗をこれからの弓に生かして更に上を目指したいと思っています。

前田 聖也

国体選手が右腕につける『長野』のワッペンにずっと憧れ、国体に出場することが、弓道を始めた時からの夢でした。その国体に出場することは楽しみと同時にプレッシャーでもありました。

不安な時は、仲間や強化部の先生方に勇気づけられ、本番では自分の最高の射をすることが出来ました。強化選手に選ばれてからの約8ヶ月間、とても有意義な時間でした。



監督を見おろす少年達とそれを見上げる監督を大勢の方々に応援していただき、本当にありがとうございます。

ねんりんピック2011に参加

火の国熊本大会へ

監督・選手 栗林 正直

23回ねんりんピック参加選手は塩原静雄(長野)岡田宏之(飯山)宮原重雄(木曾)半田綾子(佐久)室賀一枝(上小)栗林正直(小諸)で熊本大会へ参加しました。県選手団の名誉ある旗手を、塩原選手が務め、

曾、松本弓道会の温かな励ましなど練習の過程も順調で、続々と最高の中数が出た。現、本番での期待が膨らみました。

総合開始式

応援横断幕を弓道チームが掲げるなど、弓道選手にスポットが当てられる結団式開始式となりました。旗手の塩原選手が、団旗の授与を受けて「家族・役員・関係の皆様感謝しながら、出会いを楽しみ、人情文化溢れる素晴らしい熊本大会で、力いっぱい健闘を誓います。」と力強く宣誓しました。

全国大会に向けた練習は、松本弓道場にお願ひし、的中率向上を図るべく真剣に練習を重ねました。土川会長のご指導激励を受け、丸山事務局長の細やかな支援や林先生(木

総合開始式は、熊本豪華絢爛ともいえる見事なセレモニー、整えられた会場を含めた周辺の環境設備、そして受け入れのスタッフ高



いざ本番 植木弓道場

校生・小学生の爽やかな応対など、弓道における「至

誠・礼節」の具現の姿で、「おもてなしの心」の運営の見事さが随所にみられました。本番は練習の成果が十二分に発揮できず残念ながら決勝トーナメント進出を僅差で逃してしまいました。次年度長野県選手団の活躍健闘を期待します。

試合終了後は、熊本城・阿蘇を巡り、田原坂では激戦の将兵に黙とう。最高の弓仲間の出会いと交流は、松代弓術所での納会慰労会へと続き、共に人生をより豊かに楽しく充実したものとすることができましたように思います。

終わりに、県弓道連盟、県長寿社会事務局、そして、選手所属の各支部弓友の皆様のお支えに重ねて御礼申し上げます。

謹賀新年

全日本弓道具協会会員

中島弓具店

有限会社



〒380-0935

長野市中藤所1丁目12番5号 TEL 026-228-3443 FAX 026-223-4855

限りない弓道心に
真心で御手伝い



弓仲間紹介

種を蒔こう

東御市弓道協会 押金 孝

東御市弓道協会は、発足以来一貫してきた考えがあります。

それは、『種を蒔く事。』

旧東部町弓道協会発起人であり、初代会長の、故秋山敏明氏の考えそのものです。

協会発足当初より、毎年行っている弓道教室は、中学生より一般までを対象にしており、多数の受講生を迎えています。

平成十七年全国中学生大会で、本戦に女子個人の部出場を果たした受講生や、高校進学と同時に友人数人と弓道部を設立した受講生もいます。

その高校は、設立六年を経過し、現在は四十名を超える部員を抱えています。



蒔いた種が芽を出し、蕾がふくらみ、やがて花が咲く様に、東御市に限らず、県内外どこでも弓道愛好家が増えれば良いと思います。

その様な考え方から、中学生以上なら会員になります。

呑み会(一般のみ)は、いつも弓談義一色になります。

冗談や笑い声が飛び交い、酔った勢いの建設的意見?もあります。

ノミニュケーション全開モード。(笑)

会員相互の繋がりを大切にしながら、老若男女協力し、会員それぞれの目標に向かい取り組んでいます。

これから、初代秋山会長の意志を継承し、次世代の若者や弓道を体験した事のない人々に、弓道の素晴らしさを知って貰うため種を蒔き、苗を育てよう。

東御の弓仲間は、そう考えています。

私と弓道

塩尻支部

錬士五段 伊藤 公二

私は、弓道を始めて今年で16年になります。高校から始めたのですが、きっかけは特になく、なんとなく他の運動系の部より疲れなさそうだから、と言う事が正直なところですが、そんな理由で始めた弓道ですが、2年前の特別臨時審査で錬士の称号を頂く事が出来ました。錬士を頂いた年は、中信地区の錬士会へ参加させて頂けたり、春季講習会、伝達講習会、特別審査講習会と多くの御指導を頂いた事や、色々な道場で練習が出来た事の成果だと思っています。本当にありがとうございます。

錬士になってからは、式段以下審査の事前講習会の講師として声を掛けて頂けるようになりました。自分が高校の時に受講した講習会の講師をやるなんて、なんとなく始めた高校の時から想像もできない事でした。その講習会の受講生の大半は高校生でしたが、みんな熱心に受講してくれました。

そして更に、今年度から強化部員として強化部事業へ関わらせて頂く事になりました。私自身、国体への出場経験はありませんが、国体や全国レベルの大会で実績のある先生や国体で入賞経験のある選手、そして弓道を始めて2年くらいで県の代表として北信越国体、山口国体へ臨む少年男女に囲まれました。強化部員として参加していましたが、実際には私の方が学ぶ事が多く毎回刺激のある練習でした。錬士になった事が私にとって大きな転機となりました。大会や講習の度に声を掛けてくださる先生方には、本当に感謝しています。これからは、少しでも恩返しできる様に努めていきたいと思っています。



トピックス

AED研修

長野運動公園クラブ

道場にAEDが設置されたことに伴い、有資格者の大久保まき子教士を講師として研修会を行った。人形相手に人工呼吸、心臓マッサージ等を全員が実践し、予備知識とはまるで違う難しさを痛感した。より多くの人達が体験することを望むものである。

(小池梨枝子)



撮影：加藤明美

講師：大久保まき子 会長：小池梨枝子

平成二十三年三月十一日の 東日本大震災弓具等の 支援について

今回の東日本大震災では、テレビ等で目をうたがう様な光景に言葉もありませんでした。被災された皆様方には心からお見舞いを申し上げます。被災された皆様には心からお悔やみを申し上げます。

宮城県の高校に於いても弓道部の皆さんが弓具も道場も津波で流され、部活動が思うようにならないと知人の高校の先生よりうかがい、北佐久農業高等学校の掛川渡先生が中心となり東信地区の高校に呼びかけて、相当数の弓、矢、矢筒等の寄付をいただき発送をいたしました。

早速宮城県農業高等学校弓道部の皆さんより「おかげで仙南総体や県総体にも出場することが出来ました。」との礼状をいただきました。

(鷹野良信)

追いかける背中

ものです。

「——ばあん、張りのある強い音が、辺りに響く。……で始めるこの作文は第60回全国小・中学校作文コンクールの県審査で、最優秀賞に決まった豊科南中学二年の後藤萌さんの読売新聞に掲載された「追いかける背中」の冒頭です。

七月に行われた全国中学生大会県予選会で、補欠として参加した時の、広い道場の雰囲気や、先輩選手たちの射の様子を初めて見て、その感想を作文にした

汗ばむ弓を持つ手、震える体、胸の鼓動などの細かい描写は、まるで息づかいまでが聞こえてくるかのような臨場感たっぷり表現されています。

先輩達に憧れ、慕い、『その背中を追いかけてい。』とこの作文は締められています。

彼女の弓道との出会いから心の葛藤なども書かれています。とても強い気持ちで真剣に弓道に取り組む姿勢が伝わってくる作文でした。

(丸山萬佐巳)



宮城県農業高等学校弓道部の皆さんより届いたお礼状

第41回北信越選手権大会

11月13日、長野運動公園弓道場で第41回北信越選手権大会が開催されました。男子・女子各有段者の部、称号受有者の三部で北信越五県の代表が熱戦を繰りひろげました。

長野県選手団は称号受有者の部で優勝、男子有段者の部で二位、女子有段者の部で五位、総合成績は1点差で惜しくも新潟県に及ばず二位でした。

長野県の称号受有者チームは一回戦、二回戦とも12射皆中、三回戦も12射10中、計36射34中という圧倒的な成績での優勝でした。

成績(長野県分)

団体(36射)

▲男子有段者の部2位

(市川隆光・小山義弘・小沢剛志)

▲称号受有者の部 優勝

(志村仁・柴種徳・平澤敏弘)

個人(12射)

▲称号受有者の部

優勝 平澤敏弘

二位 柴種徳

三位 志村仁



称号受有者の部

志村仁選手 柴種徳選手 平澤敏弘選手



3回戦

2回戦

1回戦

(杉田)

(12中) (12中) (10中)

北信越連合会 会長・理事長会議報告

理事長 杉田 博

11月12日に開催の標記会議で24年度の連合会関係の行事日程が次のように決定しました。(長野県関係分のみ)

北信越地区中央講習会

○地区指導者講習会(上越市)

5月12日(土) ～ 13日(日)

○地区指導者育成講習会(金沢市)

7月14日(土) ～ 15日(日)

北信越地区講習会(信越の部)

○四・五段の部(長岡市)

5月20日(日)

○称号者の部(飯山市)

5月20日(日)

中央審査

○錬士臨時中央審査(松本市)

6月3日(日)

○臨時中央審査(射水市)

9月8日(土) ～ 9日(日)

北信越地区連合審査

○柏崎市 5月27日(日)

○金沢市 7月1日(日)

○飯田市 10月14日(日)

北信越地区競技会

○弓道錬成大会(福井市)

7月29日(日)

○第33回北信越国民体育大会弓道

競技(敦賀市)

8月25日(土) ～ 26日(日)

○第42回北信越選手権大会(福井

市)

11月11日(日)



「全国地連会長会議報告」

長野県弓道連盟会長 土川 俊市

平成二十三年度全国地連会長会議が十一月三日東京明治神宮近くの代々木倶楽部の会議室で行われました。

議題の多くは報告事項で、先ず公益法人制度改革について、移行に係る進捗状況は、全弓連の公益財団法人移行に関し公益認定委員会への諮問を受けて審査の結果、八月二十五日付けで法律の規定する認定基準に適合するとの答申により、十月二十一日付け内閣総理大臣からの公益財団法人の認可があり、法人登記等の諸手続きを経て十一月一日をもって、公益財団法人全日本弓道連盟へと移行された説明と、今後は新法人定款に基づき公益的な事業について一貫体制での運営を行い、加盟団体四十七とする(都道府県を代表する弓道連盟)などのほか、公益目的の事業については、弓道の指導者育

成事業としての講習会・研修会や、弓道競技力向上事業の競技会、また称号の査定及び段級の審査等々の事業を行い、財務については、公益目的の事業に係わる収入の総額が支出総額を上回らない(収支相償)こと、などについて報告と説明がありました。

ついで、全弓連の公益財団法人移行に係る加盟団体のあり方について、その役割と運営については、加盟団体ならびに連合会は、全弓連が主催する公益目的の事業について、主管を務め運営に参画する。各加盟団体が行う事業は、全弓連が実施する公益目的の事業に準ずる活動とする。

新法人における加盟申請については都道府県弓道連盟は公益財団法人全日本弓道連盟への加盟にあたり、全弓連定款および関連諸規程の規定

に基づき加盟申請を行うこととされた。

次に平成二十四年度行事計画(案)について、事業と日程の説明で、指導者育成講習会(弓界の次世代を担う、将来の指導者になりうる弓人の育成事業)などの事業が新設され、指導力向上指導者講習会・女子講習会・地連幹部講習会と全国遠的弓道大会(成人の日記念)は廃止となった。

行事の一部変更は全日本弓道選手権大会出場選手枠のブロック選出枠が廃止され、各地連二名となった。また全日本弓道遠的選手権大会は輪番開催となりました。輪番開催は三地区(中央道場・東日本エリア・西日本エリア)で、平成二十四年度は中央道場、平成二十五年度は島根県出雲市での開催となっています。

全国高等学校弓道選抜大会の開催時期が平成二十四年度から十二月(従来は三月)開催に変更されます。

その他大会参加料および講習会受講料の見直しを行うなどの説明がありました。

更に、中学校武道必修化や弓道の国際普及・日本体育協会・国民体育大会第二期実施競技の選定などの説

明と東日本大震災に関する義援金についてはすでに弓道誌に掲載された状況の報告がありました。

今年度の各種表彰については、武功労者表彰(日本武道協議会)に朝隈敏子先生・武道優良団体(日本武道協議会)新潟県三条弓道会・日本スポーツ賞(読売新聞)細川孝夫先生と発表されました。

以上会議の(紙面の都合で概略ですが)報告といたします。



平成23年度地連別登録人口について

平成23年度 地連別登録人口一覽

平成23年9月20日現在

地連名	中 学 生			高 校 生			大 学 生			一 般			合 計							
	男	子	女	子	小 計	男	子	女	子	小 計	男	子	女	子	小 計	男	子	女	子	小 計
北海道連合	67	86	153	1,589	1,744	3,333	390	266	656	1,247	856	2,103	3,293	2,952	6,245					
北海中央	2	5	7	643	678	1,321	241	194	435	326	206	532	1,212	1,083	2,295					
北海西部	2	11	13	159	135	294	16	14	30	89	69	158	266	229	495					
北海南部	0	0	0	100	120	220	25	4	29	77	51	128	202	175	377					
北海東部	16	22	38	178	168	346	33	15	48	137	118	255	364	323	687					
北海中部	5	3	8	107	126	233	1	2	3	159	84	243	272	215	487					
北海北部	42	45	87	402	517	919	74	37	111	459	328	787	977	927	1,904					
東北連合	257	266	523	5,167	4,637	9,804	545	372	917	1,998	1,162	3,160	7,967	6,437	14,404					
青 森	0	0	0	529	474	1,003	25	21	46	369	175	544	923	670	1,593					
岩 手	2	5	7	1,347	1,166	2,513	70	48	118	313	152	465	1,732	1,371	3,103					
宮 城	201	211	412	1,214	1,262	2,476	209	120	329	408	232	640	2,032	1,825	3,857					
秋 田	1	3	4	277	283	560	63	33	96	223	167	390	564	486	1,050					
山 形	14	12	26	716	635	1,351	102	90	192	314	195	509	1,146	932	2,078					
福 島	39	35	74	1,084	817	1,901	76	60	136	371	241	612	1,570	1,153	2,723					
関東連合	1,563	1,652	3,215	7,720	7,447	15,167	2,614	2,014	4,628	9,256	7,445	16,701	21,153	18,558	39,711					
茨 城	289	345	634	870	929	1,799	64	43	107	690	443	1,133	1,913	1,760	3,673					
栃 木	922	925	1,847	740	589	1,329	98	70	168	599	291	890	2,359	1,875	4,234					
群 馬	7	9	16	955	835	1,790	121	78	199	587	337	924	1,670	1,259	2,929					
埼 玉	29	23	52	884	945	1,829	265	205	470	1,688	1,410	3,098	2,866	2,583	5,449					
千 葉	6	14	20	1,760	1,597	3,357	268	177	445	1,067	711	1,778	3,101	2,499	5,600					
東京第1	15	0	15	95	99	194	91	77	168	533	381	914	734	557	1,291					
東京第2	37	47	84	266	298	564	610	549	1,159	449	468	917	1,362	1,362	2,724					
東京第3	147	101	248	458	434	892	679	541	1,220	1,291	1,309	2,600	2,575	2,385	4,960					
神 奈 川	111	188	299	1,277	1,289	2,566	335	237	572	2,049	1,965	4,014	3,772	3,679	7,451					
山 梨	0	0	0	415	432	847	83	37	120	303	130	433	801	599	1,400					
北信越連合	129	223	352	3,162	2,886	6,048	557	393	950	2,320	1,515	3,835	6,168	5,017	11,185					
新 潟	2	10	12	470	379	849	153	96	249	349	238	587	974	723	1,697					
長 野	18	22	40	1,487	1,533	3,020	169	115	284	948	538	1,486	2,622	2,208	4,830					
富 山	29	40	69	313	257	570	69	69	138	425	348	773	836	714	1,550					
石 川	79	143	222	549	439	988	99	56	155	387	267	654	883	905	1,788					
福 井	1	8	9	343	278	621	67	57	124	211	124	335	622	467	1,089					
東海連合	1,447	1,586	3,033	5,796	4,853	10,649	706	538	1,244	3,791	2,493	6,284	11,740	9,470	21,210					
静 岡	115	159	274	1,514	1,254	2,768	144	86	230	1,103	685	1,788	2,876	2,184	5,060					
愛 知	1,253	1,326	2,579	3,139	2,622	5,761	373	319	692	1,855	1,210	3,065	6,620	5,477	12,097					
岐 阜	74	78	152	705	646	1,351	101	63	164	493	354	847	1,373	1,141	2,514					
三 重	5	23	28	438	331	769	88	70	158	340	244	584	871	668	1,539					
近畿連合	274	241	515	1,824	1,813	3,637	1,078	931	2,009	2,231	2,064	4,295	5,407	5,049	10,456					
滋 賀	2	6	8	329	328	657	72	54	126	192	151	343	595	539	1,134					
京 都	48	21	69	186	224	410	320	303	623	290	234	524	844	782	1,626					
大 阪	14	9	23	340	390	730	400	279	679	642	651	1,293	1,396	1,329	2,725					
兵 庫	43	44	87	381	338	719	150	178	328	836	776	1,612	1,410	1,336	2,746					
奈 良	167	161	328	457	429	886	86	99	185	216	223	439	926	912	1,838					
和 歌 山	0	0	0	131	104	235	50	18	68	55	29	84	236	151	387					
中国連合	231	260	491	2,112	2,035	4,147	385	376	761	1,234	711	1,945	3,962	3,382	7,344					
鳥 取	142	144	286	232	264	496	64	37	101	73	39	112	511	484	995					
島 根	15	16	31	381	298	679	62	30	92	144	57	201	602	401	1,003					
岡 山	17	32	49	280	216	496	126	149	275	325	187	512	748	584	1,332					
広 島	15	27	42	537	610	1,147	64	73	137	240	139	379	856	849	1,705					
山 口	42	41	83	682	647	1,329	69	87	156	452	289	741	1,245	1,064	2,309					
四国連合	208	262	470	1,393	1,240	2,633	276	221	497	635	396	1,031	2,512	2,119	4,631					
香 川	0	0	0	397	445	842	78	53	131	150	82	232	625	580	1,205					
徳 島	132	148	280	303	241	544	68	55	123	152	98	250	655	542	1,197					
高 知	65	94	159	264	217	481	73	59	132	119	95	214	521	465	986					
愛 媛	11	20	31	429	337	766	57	54	111	214	121	335	711	532	1,243					
九州連合	1,364	1,754	3,118	4,942	4,694	9,636	744	626	1,370	4,314	2,811	7,125	11,364	9,885	21,249					
福 岡	75	130	205	1,598	1,428	3,026	341	315	656	1,350	1,295	2,645	3,364	3,168	6,532					
佐 賀	29	52	81	401	398	799	65	59	124	150	88	238	645	597	1,242					
長 崎	34	40	74	640	749	1,389	29	29	58	391	201	592	1,094	1,019	2,113					
熊 本	188	198	386	751	637	1,388	119	70	189	497	234	731	1,555	1,139	2,694					
大 分	3	19	22	598	427	1,025	50	52	102	340	205	545	991	703	1,694					
宮 崎	195	279	474	247	302	549	50	29	79	472	243	715	964	853	1,817					
鹿 児 島	840	1,036	1,876	665	725	1,390	88	70	158	942	449	1,391	2,535	2,280	4,815					
沖 縄	0	0	0	42	28	70	2	2	4	172	96	268	216	126	342					
合 計	5,540	6,330	11,870	33,705	31,349	65,054	7,295	5,737	13,032	27,026	19,453	46,479	73,566	62,869	136,435					

平成二十三年度 祝射会

被表彰者三十四名と二団体

二十三年度の祝射会が十一月二十日、塩尻市弓道場で開かれた。

例年だと寒さが身に凍みるが、前夜の雨もあがつて、この時期にはめずらしい暖かい日和の中で行われた。

祝射を受ける対象者は、
・国、県などから表彰を受けた会員
・全国規模の大会で優秀な成績を収めた会員
・称号及び七、八段の昇段・昇格者の昇段・昇格者
・県連理事や支部長などの役員退任者などである。



本年中に、国、県などから表彰を受けたのは、叙勲拝受の山川茂樹前会長をはじめ六名と諏訪市弓道協会、茅野市弓道協会の二団体。優秀成績者は、全日本弓道大会で

範士の部優秀賞の宮澤廣先生、同有段者の部優勝の山田静香(上伊那)さん、国体近的五位の成年男子、同遠的六位の少年男子、それに全国中学生弓道大会女子個人の部六位の滝澤里帆(長野日大)さんら九名。

昇段・昇格者は八段に土川俊市会長、七段の宮坂博之先生。それに錬士昇格者八名を数えたのはうれしいこと。が、教士昇格者がみられないのは、いささかのさみしさを覚える。退任役員は、山川前会長退任にもない交代が多かったこともあって九名となった。被表彰者計三十四名と二団体。一般参加者六十一名。九時半開会。表彰のあと、会長の矢渡し、一般参加者による一手坐射

の祝射、そのあと被表彰者による答礼射が行われた。入賞者による答礼射はさすがに見応えがあり、中学生の滝澤さんの、のびのびした射にも目を見張る。

最後は宮澤、宮坂、外薮公毅、清水克也、宮下重敬各先生による三人、二人の一つの射礼で、厳肅な空気の中で締めくくられた。終了十二時。そのあと、会場を中信会館に移して祝賀会が行われた。(松澤英男)



明けましておめでとうございます

野辺山洗心弓道場

近的道場 18人立1ヶ所 (床暖房完備)
12人立2ヶ所
遠的道場 1ヶ所

弓道合宿予約随時受付中!

帝産ロッヂ

〒384-1305

長野県南佐久郡南牧村野辺山 1003

HP: <http://www.teisanlodge.com/>

ご予約・お問い合わせは 0267-98-2861

大会結果

第28回無相大師奉賛弓道大会

○9月11日(日) 中野市営弓道場
参加数・433人 射数・8射

▲高校男子団体結果
1位 長野日大

2位 (中村誠人、横川大輝、大宮樹) 15中

3位 (木内拓未、瀬在昭憲、三井康平) 13中

▲須坂
(桑原遼雅、矢部岳史、大倉忍) 12中

▲高校女子団体結果
1位 中野西
(北村彩花、松山加奈、富澤彩乃) 15中

2位 長野東
(渡辺千穂、畑山かな恵、小山暖加) 13中

3位 長野吉田
(大川友里恵、吉沢苑恵、竹内愛) 12中

▲高校男子個人結果
1位 大宮 樹 (長野日大) 7中

2位 町田 光 (飯山) 6中

3位 北村有敬 (長野工業) 6中

▲高校女子個人結果
1位 松山加奈 (中野西) 6中

2位 上條真実 (長野西) 6中

3位 高野淑恵 (長野西) 6中

第53回塩尻市武道大会

○9月11日(日) 塩尻市弓道場
参加数・一般43名、高校173名 中学2名計218名

▲中学団体結果
1位 翔翱 (山崎千夢、三田美央)

▲高校団体結果
1位 田川A
(和出航平、内木航平、小原拓也)

2位 豊科A
(高山寿子、小出佳歩、永谷蒼)

3位 松商男子A
(富岡大輔、中村拓哉、細田孝介)

▲一般団体結果
1位 菁我館
(折橋光江、中村永子、堀田健一)

2位 小諸懐古
(栗林知行、新崎睦美、栗林正直)

3位 駒ヶ根
(杉山滋志、都築勝、小松徹朗)

▲個人結果
1位 高山寿子 (豊科C)

2位 松原重雄 (木曾義伸A)

3位 清澤健一 (木曾清峰A)

4位 杉山滋志 (駒ヶ根)

5位 栗林正直 (小諸懐古)

平成24年度スポーツ交流大会弓道競技、兼全国大会長野県予選会

○10月1日(土) 長野運動公園弓道場
参加数・42名 競技内容・近的12射

▲2011信州ねりんピックスポーツ交流大会結果
1位 新崎睦美 (小諸支部) 9中

2位 中島 啓 (飯伊支部) 8中

3位 清水克也 (上小支部) 7中

第60回上田市民総合体育大会

○10月2日(日) 上田城跡公園弓道場
参加数・一般24名、高校生125名

▲高校男子結果
1位 若林滉季 (上田東) 9中

2位 大井侑紀 (上田東) 8中

3位 丸山 凌 (上田千曲) 7中

▲高校女子結果
1位 金井奈穂 (上田) 9中

2位 加藤優季 (上田染谷) 8中

3位 堀内怜利 (上田染谷) 7中

▲男子有段者結果
1位 手塚信幸
2位 川俣晃
3位 飛知和明和
▲男子称号者結果
1位 清水克也

2位 中野栄治
3位 滝澤利夫
▲女子結果
1位 高木涼子
2位 阿部緑
3位 片岡由恵
▲総合優勝 清水克也

山口国体

○10月2日(日)～5日(水) 山口県弓道場
(遠的、近的)

▲遠的結果 少年男子 6位入賞
▲近の結果 成年男子 5位入賞

第31回飯山市民弓道大会

○10月9日(日) 飯山市民弓道場

▲高校男子団体結果
1位 町田光、池田拓磨、常田雅幸
(飯山北B)

▲飯山北C
(齊藤さつき、江口碧、高橋亜美)

▲高校女子個人結果
1位 齊藤さつき (飯山北C) 10中

2位 小林 涼子 (飯山北D) 9中

3位 小林 愛美 (飯山北E) 7中

▲高校男子個人結果
1位 町田 光 (飯山北B) 11中

2位 丸山貴也 (飯山北) 10中

3位 常田雅幸 (飯山北B) 10中

▲一般女子個人結果
1位 清水和代 (飯山北) 11中

2位 富井浩子 (飯山北) 10中

3位 福沢信子 (飯山北) 9中

▲一般男子個人結果
1位 大口晴男 (飯山北) 9中

2位 岡田宏之 (飯山北) 10中

3位 飯田秀樹 (飯山北) 12中

※同中は、競技により順位を決定。

第31回池田町秋季県下弓道大会

○10月9日(日) 池田町体育協会
参加数・270名
▲個人(一般・高校共通)結果

1位 宮崎 完 (混成)

2位 生田憲克 (コモンズ)

3位 道善勝太 (松商学園F)

▲高校男子団体結果(3人1チーム)
1位 大町高A
(遠山奈実、藤山菜々、細田友美)

2位 上田東高
(大井侑紀、大澤混平、澤口大輔)

3位 松商学園D
(細田孝介、幅谷稜、新井啓正)

▲男子団体結果(3人1チーム)
1位 武川勇、春原由美子、宮崎完 (混成)

2位 折橋光江、中村永子、堀田健一 (菁我館)

3位 野口陽子、松原重雄、神村泉 (木曾義伸)

第23回国宝松本城お城まつり奉射弓道大会

○11月3日(火) 松本市弓道場
参加数・高校生203名(男子94名、女子109名)、一般97名(男子58名、女子39名)、合計300名

▲高校男子結果
1位 内木航平 (田川高校) 8中

2位 細田孝介 (松商学園) 7中

3位 竹内秀明 (東海大三) 7中

4位 浦塚雅史 (松商学園) 7中

5位 鈴木慎弥 (東海大三) 6中

▲高校女子結果
1位 市川真愛 (松本深志) 6中

2位 高山寿子 (豊科) 6中

3位 中村春日 (諏訪二葉) 5中

4位 横山芽衣 (松商学園) 5中

5位 小林もと (諏訪二葉) 5中

第9回千曲市長杯弓道大会

○11月3日(水) 千曲市弓道場
種目・近的競技、団体戦(5人1チーム)、
出場数・男子31、女子38

1位 伊佐治博紀 (信州大学) 8中

2位 井口 正弘 (上伊那支部) 8中

3位 永治 拓也 (信州大学) 8中

4位 小松 徹朗 (上伊那支部) 7中

5位 細田 剛寛 (信州大学) 6中

▲高校男子結果

- 1位 長野日大B (中村誠人、川又史也、和田知大、小野洗、大宮樹)
 - 2位 須坂A (小林亨平、久保亮太、竹内裕亮、加藤和希、山崎征樹)
 - 3位 長野A (山崎哲哉、矢嶋達也、山崎光司、鈴木智也、山寺恭平)
- ▲高校女子結果
- 1位 長野日大B (永江有子、仁和香之、青山華穂、堀内堯帆、岡田理夏)
 - 2位 中野西A (松山加奈、米山楓、富澤彩乃、松澤聖菜、北村彩花)
 - 3位 市立長野B (大日方由佳、宮崎莉緒、泉紗姫、小林桃佳、小林奈月)

第46回県下弓道飯島大会

- 11月6日(日) 飯島町弓道場
参加数・149名
※団体は上位8チームによるトーナメント戦
- ▲学生個人結果
- 1位 新村 直也 (赤穂男子B)
- 2位 小河原一真 (岡谷南C)
- 3位 百瀬晃太郎 (伊那北)
- 4位 北村 太希 (岡谷南B)
- 5位 本山 光弘 (岡谷南C)
- ▲一般個人結果
- 1位 坪井 優 (矢真飛A)
- 2位 柴 種徳 (伊那B)
- 3位 山岸稔員 (東伊那)
- 4位 上田 昇 (木曾義仲)
- 5位 藤森春香 (岡谷)
- ▲一般個人結果
- 1位 駒ヶ根A (井口正弘、小松徹明、杉山滋志)
- 2位 岡谷南B (三神僚、山岡正樹、北田太希)
- 3位 諏訪実B (渡辺恵理奈、小松茉菜美、塚本笑可)

第9回千曲市長杯弓道大会 一般の部

- 11月13日(日) 千曲市弓道場
種目・近的競技 個人戦(男子女子混合)
競技方法・立射(順立)8射(各自4射、2回)
- 参加数・49名
- ▲一般結果
- 1位 中島 勁 (長鉄)
- 2位 栗林正直 (懐古園)
- 3位 上原 瞳 (須坂)
- 4位 今井純子 (千曲)
- 5位 長岡 昌 (丸子)

第14回全日本官公庁弓道大会

- 11月26日(土) 全日本弓道連盟中央道場
- ▲称号受有者団体結果
ベスト8 敢闘賞 諏訪市役所
(五味沙話子、五味雅恵、市川隆光)
- ▲個人結果
1位 市川隆光

審査合格者

- 北信越臨時中央審査
平成23年09月10日～11日「長野」
▽六段(平成23年09月11日)
○中村尚子(安曇支部)
- 富沢正人(長野支部)
- 神津明男(須高支部)
- ▽錬士(平成23年09月10日)
- 小越 剛(松本支部)
- 真関志野(松本支部)
- 定期中央審査
平成23年11月04日～06日「東京」
▽六段(平成23年11月04日)
○柴種徳(上伊那支部)

特別臨時中央審査

- 平成23年12月17日～18日「東京」
▽錬士(平成23年12月17日)
○足助 敦(諏訪支部)
- 坂下 哲也(長野支部)
- 安藤 教光(上小支部)
- 土屋きよみ(小諸支部)

訃報のお知らせ(敬称略)

- 上小支部
四段 佐藤恒人(81歳)
平成23年5月31日(火)ご逝去されました。
- 飯伊支部
式段 小林謙三(75歳)
平成23年9月22日(木)ご逝去されました。
- 安曇支部
五段 山岸清人(85歳)
平成23年9月30日(金)ご逝去されました。
- 飯伊支部
参段 常盤時久(81歳)
平成23年10月7日(金)ご逝去されました。
- 長野支部
参段 北沢英二(75歳)
平成23年10月10日(月)ご逝去されました。
- 元副会長 長野支部
教士七段 齋藤節朗(80歳)
平成23年11月3日(木)ご逝去されました。



つづい

我が家の庭では今水仙が蕾を膨らませている。それも家主(いえぬし)の性格そのままに、あちこちにまとまりなく群れて...

まだ小学校に上がる前、叔父にひどく怒られたこと。中学の頃手作り望遠鏡のレンズを使い接写したこと。新種の花を作ろうと、交配に挑戦したこと。いろいろな記憶と結びついている大好きな花です。

葉も含めて、シンプルな姿が好きなので、八重咲きはあまり好まない。そのためそこそこの種類があると思うがすべて一重咲き。

弓を初めて見たのは十歳前後だったと記憶している。お年寄りが(今考えると現在の自分より随分若かった筈)引いているのを見ていつか自分も引きたいと思っただけです。実際に弓道を始めたのはそれからずっと後のことだが、途中プランクがあったものの、いまだに続いています。

水仙にしろ弓道にしろ飽きっぽい性格の自分が飽きもせず好きでここまでやってこられたのは、そのシンプルさの故、というのはいじつけにすぎないだろうか。

(杉田 博)